

ここだけの話ですが

安住の地

定職にもつかず
それでも食っていった
それには訳がある
昔、住んでた家が

男の趣味は
小説を書く
ことだった

高速道路の
計画区域に入り
多額のお金が
入ったからだ

たぐちえつお

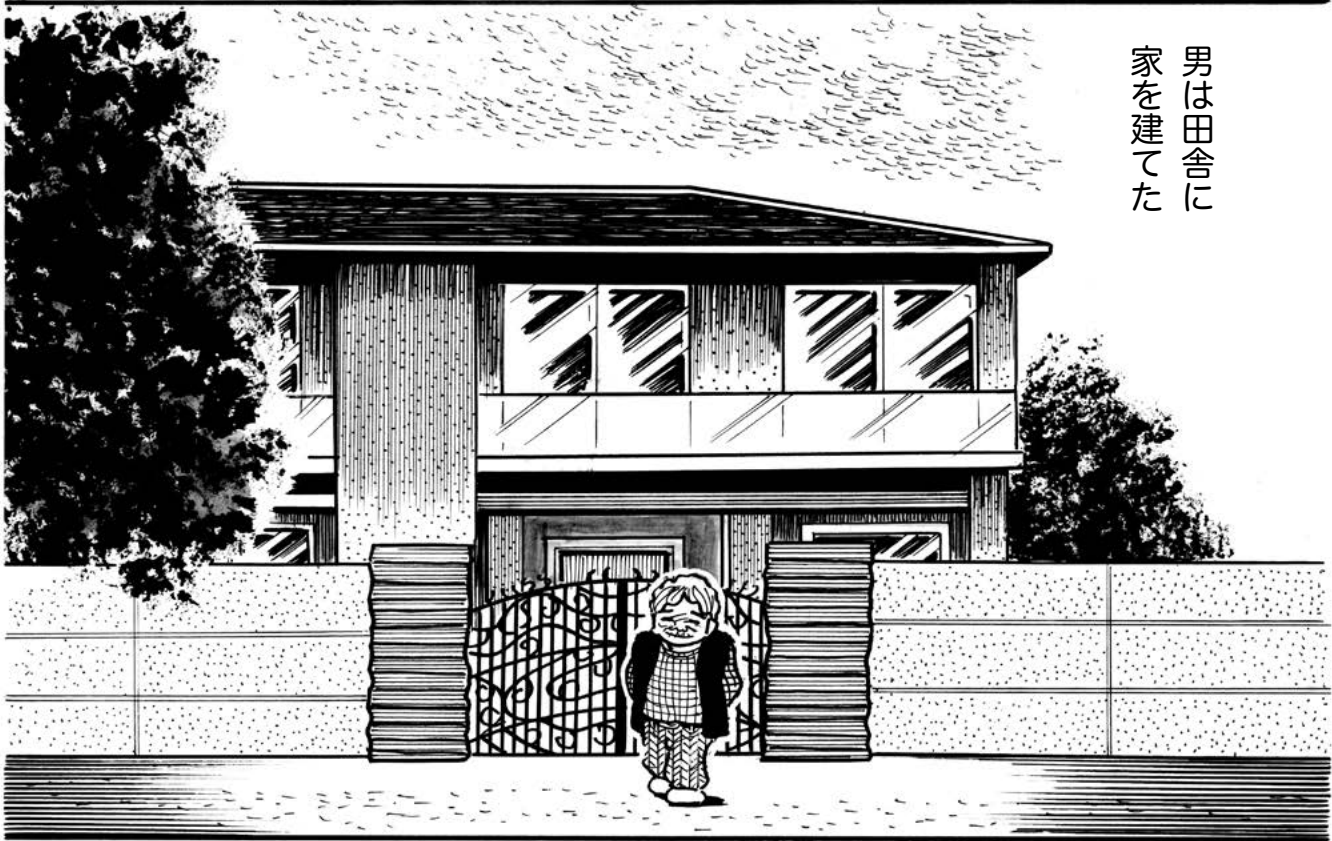


外の空気でも
吸ってくるか

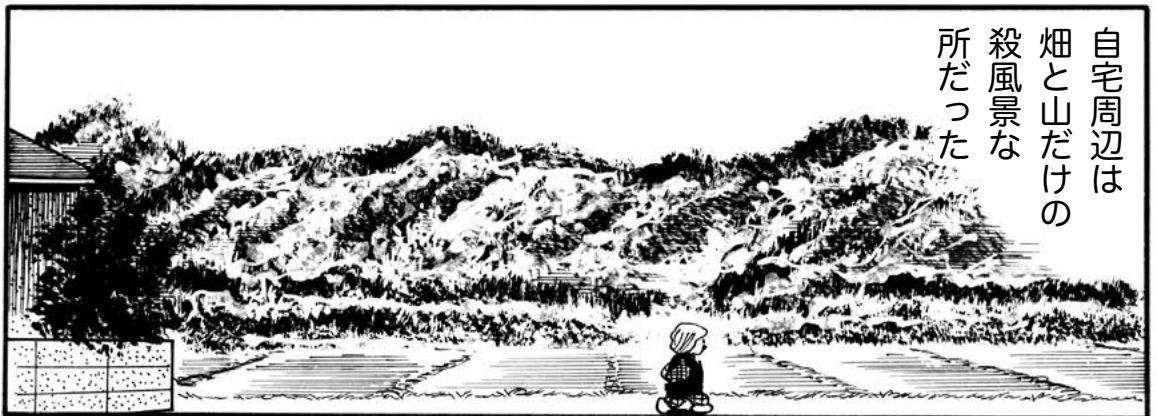


そのおかげで毎月
悠々自適な生活を
送っていた

だめだ
アイデアが
浮かばん



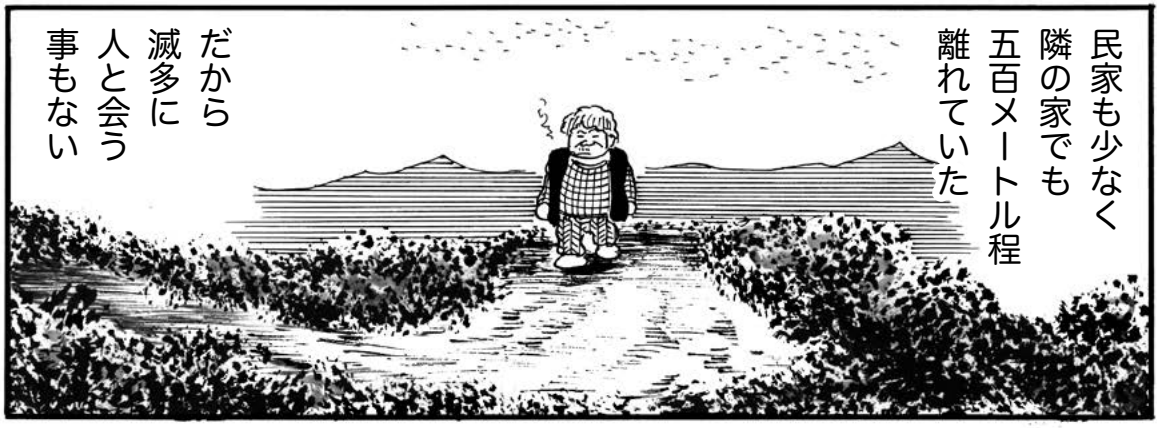
男は田舎に
家を建てた



自宅周辺は
畑と山だけの
殺風景な
所だった

民家も少なく
隣の家でも
五百メートル程
離れていた

だから
滅多に
人と会う
事もない



男は気分が
乗らない時
行く場所が
あった

日本でも
一番美しい
山が見える
ベストシヨットの
場所だった

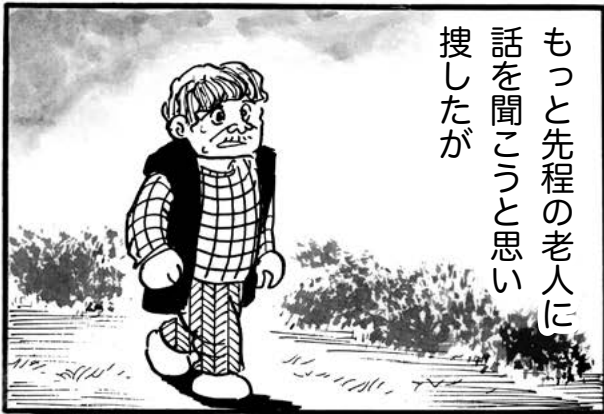


男は引越して来て
良かったと思う事は
わずらわしい
人間関係と無縁に
なった点だ

タバコは
体に良く
ないよ

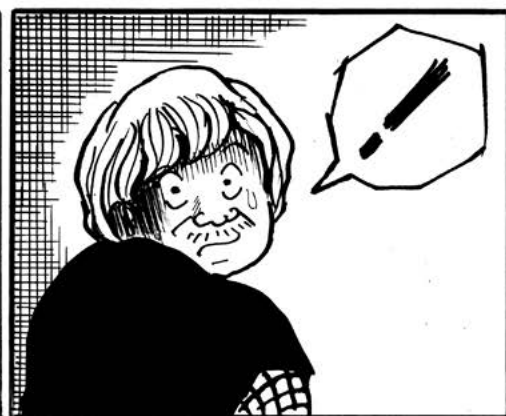
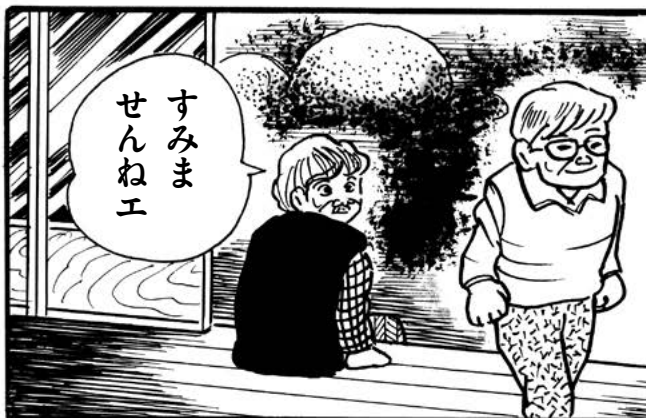






そこは墓地
だった







結局俺は家を
処分し別の所へ
引っ越した



俺はじいさんの
言葉が耳から
離れなかった

五十年前
墓地だった土地に
俺の家が建って
いる事を：



だが喜んだ
連中がいた



モダンな家は
なかなか買い手が
つかなかった



昔の場所に戻った
亡者達は再会を祝し
パーティを開いて
おおいに盛り上がった

イエーイ
元気だったか？
今夜は最高

アハハハ

その銀
待って
くれない

だめ

終



良かったわ
この場所よ
私達にとって

やはり一番
気持ちがいい
落ち着く所ね



そうじゃろう
住み慣れた
場所はいい
もんじゃ